

# 平成27年度 安全衛生プロジェクト活動報告

OSHMSプロジェクトチーム 清水幹郎 片岡裕一

## 1. 平成27年度の総括

教育機関において安全で衛生的な作業環境を構築することは実験・実習において環境を共有する学生に対して良好な学習環境を提供する一つの要素である。教育研究支援センターでは、センター長を責任者として安全衛生計画を立案し計画に基づいて活動を行っている。また、当センターは安全衛生活動の見える化・システム化を目的に労働安全衛生マネジメントシステムの構築をめざしている。

本報告では、今年度の新たな活動と安全衛生計画とその実施結果の評価について報告する。

### 1.1 安全衛生方針および目標

当センターの安全衛生方針は「安全衛生上の危険有害要因を把握し、実験・実習環境のリスクを低減する。労働安全衛生マネジメントシステムを構築し、継続的により安全で衛生的な実験実習環境を目指す。」である。この方針に従い今年度の目標は熱中症測定の自動化の検討と安定した照度測定とした。別表に平成27年度安全衛生計画の内容と評価を示す。

### 1.2 安全衛生計画の総括と評価

安全衛生管理体制の確立については、プロジェクト員として新たに廣部まどか技術職員を迎え、より迅速かつ綿密な測定が実施可能となり継続的かつ積極的にミーティングも実施でき問題提起された事案等に対しても迅速に対応できておりPDCAサイクルは着実にスパイラルアップしているといえる。しかし今年度手順等を変更した測定手順書は内容を変更していないので改定を実施したい。昨年の課題であった資格・法定教育の確認は新規技術職員採用に伴い実施できた。全体の評価としては、おおむね良好とした。

### 1.3 次年度に向けて

慣れが災害や疾病の原因であることは周知の事実である。我々技術職員が紺屋の白袴にならないよう気を引き締めて活動する必要がある。金と時間と人材が豊富であれば簡単に快適な作業環境になるが工学の基本に立ち返り”与えられた条件”で持続してより安全で衛生的な作業環境をめざしていきたい。

## 2. 平成27年度の活動報告

4年目となる今年度の主な活動は、以下のとおりである。

### 2.1 WBGT（熱ストレス指数）測定

前年26年度に続き、学内におけるWBGT測定を5月11日から9月30日までの期間、昨年測定場所に職員会館前を加えた構内5ヶ所で行った。今年度から自動記録保持型の測定器を2ヶ所で導入し、測定作業の効率化に取り組んだ。測定結果については熱中症の危険度は期間を通してみると昨年よりも低い傾向がみられたが、8月上旬の数日に限ると危険度が最も高い区分に該当する日も観測された。

またWBGT測定に関連した活動として、6月に大塚製薬（株）から外部講師を迎え、熱中症への理解を深めることを目的に、熱中症対策講座を本校大会議室にて実施した。（写真1）



写真1 熱中症対策講座の様子

## 2.2 照度測定

前年26年度に続き、技術職員の使用頻度が高い作業場所（実習工場・実験室・演習室）や教室での照度測定を行った。測定は夏期および冬期の各1日ずつ、いずれも朝、昼、夕の3つの時間帯で測定した。

さらに今年度の冬期測定からは、それまでの測定箇所（実験室11室、教室10室）に加え、3つの教室と図書館の閲覧室とPCコーナーおよびコミュニティプラザを追加した。この活動範囲拡大の要因は事務連絡会において柴事務部長に安全衛生委員会でWBGTや照度測定結果を報告すべきとのアドバイスをいただいた事による。測定結果は学生課にフィードバックし、安全衛生委員会にも参考資料として提示されている。

## 2.3 環境都市工学科棟実験施設の

### 安全点検

当センター運営委員会で活動を報告後、環境都市工学科辻子学科長より環境都市工学科棟の安全衛生点検を依頼された。これは、平成24年度より実施している当センターの着実な安全衛生活動を評価されたものであり名誉なことである。

点検箇所は、構造実験室、水理実験室、地盤実験室など学科棟内の7施設を巡回し、重量物の落下や使用者の怪我の恐れなどの不具合状況や、その改善点をまとめた一覧や注意喚起ポスターを点検報告として、環境都市工学科長に提出した。（図1）



個人実験  
禁止

図1 注意喚起ポスターの例

## 2.4 活動の学内外への情報発信

今年度で本プロジェクトの立ち上げから3年が経過した。そこでこれまでの活動を総括し、学内外に向けてのプロジェクトチーム活動の情報発信に取り組んだ。

学外に対しては第74回全国産業安全衛生大会に応募・論文投稿し、10月に発表を行った。また、本校研究紀要第49号にはWBGT測定と照度測定を中心にまとめた論文の投稿を行い、掲載に至った。

### 第74回 全国産業安全衛生大会

#### 第三次産業分科会

会場：名古屋国際会議場

主催：中央労働災害防止協会

「教育現場で働く技術職員が企図する労働安全衛生管理への取り組み」

○清水

### 福井高専 研究紀要 第49号

「実習・実験室におけるWBGTおよび照度の測定」

○藤田、清水、片岡、中村、小木曾、廣部、山田センター長（以上敬称略）

## 2.5 今年度活動のまとめ

本プロジェクトは平成25年度、26年度にまたいで申請した、校長裁量経費プロジェクトという形で活動を具体化してきた。申請は昨年度までを区切りとしたが、今年度も活動は継続することを前提に行い、これまでの測定活動以外にも多くの新規活動を展開することができた。そのなかでもこれまでの活動総括ができたことは、今後の活動を見据える上でもいいきっかけになったと考える。

次年度についても同様に測定活動は継続し、その他新しい取り組みにも幅広く活動していくことで、安全で衛生的な作業環境への改善を目指していきたいと考える。